

### 1613 血液プールのシンチグラムによる 肝海綿状血管腫の診断

岩崎尚弥, 亙理 勉, 兵頭春夫 (獨協医大, 放)  
菅谷 仁, 前原 操, 杉田敏夫 (獨協医大, 二内)

肝海綿状血管腫の RI 診断において血液プールシンチが有用なことはすでに報告されている。

我々は肝海綿状血管腫, 6例について肝シンチ, 血液プールシンチを行い, 肝腺腫など鑑別すべき他の肝疾患と対比し, 血管腫の大きさについても検討したので報告する。

また超音波診断, 腹腔鏡, 選択的血管造影などによる診断法も加えて, RI 診断の限界について述べたい。結果として, 肝血管腫は血液プールシンチにて陽性像として認められる。しかし病巣が 3 cm 以上の場合, 診断は容易であるが, 2 cm 以下ではその検出は困難であった。

肝海綿状血管腫は血液プールを有すること, 肝表面に多く発生することから, 選択的血管造影, 腹腔鏡検査が有用であった。

### 1614 肝血管腫の総合画像診断——血液プール Scan の診断限界

篠原正裕, 伊藤和夫, 森田 穰 (北大, 放)  
佐藤直樹, 葛西洋一 (北大, /外)

RI 複合診断法による肝海綿状血管腫の存在診断能、質的診断能を US、CT と対比検討した。主病巣の存在診断はプール Scan、Colloid scan、US、CT とともに 8 例中 7 例 (87.5%) に可能であったが、多発病巣が見られた 2 例の小病巣は最大 2 cm の腫瘍が、いずれの画像診断でも描出されなかった。質的診断能は血液プール Scan では 8 例中 5 例 (62.5%) に血管腫主病巣に一致して Pool 像が見られ、CT における Peripheral Enhancement、血管造影所見とよく一致し質的診断に有効であった。しかしながら 2 cm 以下の小病巣と肝動脈結紮、放射線治療が行なわれた 2 例の巨大肝血管腫には Pool 像が得られなかった。以上のことから肝血管腫の RI 複合診断の限界は、腫瘍径 2 cm 前後の小病巣、腫瘍内脈管構築の変化に伴う乏血性病巣と推定される。本法の診断限界について撮影装置、撮影体位ならびに肝血管腫内の脈管構築の点から検討し、その知見を報告する。

### 1615 肝腸吻合術後の RI ヘパトグラム画像診断 —胆汁流出状況を中心として— 米山桂八, 石川広記 (伊勢原協同, 外), 片山通夫 (川崎市立川崎, 理診)

最近 3 年間に手術した肝・腸吻合例 7 例 (良性疾患 2 例, 悪性疾患 5 例) について術後より  $^{99m}\text{Tc}$ -PI 又は  $^{99m}\text{Tc}$ -E-HIDA を用い追跡, 経過観察を行なった。肝腸吻合後における胆汁流出状況の把握は重要であるが, DIC では満足し得る資料が得られない。PTC あるいは動脈造影などはかなりの侵襲となる。

RI を用いたヘパトグラムは, 胆汁の腸管への流出状況, 時間, 吻合部の開存の良否, 肝貯積復元の状態を適確に表現した。撮影は  $^{99m}\text{Tc}$ -E-HIDA 静注後, 1 分間隔で 4 8 コマにとり, 肝及び吻合部に ROI を設定しヘパトグラムカーブを描記, 肝機能検討の資料とした。再現性高く, 副作用なく満足のゆく画像として有用である。使用機種は東芝製 GCA-401-3 型シンチカメラと GMI-04A 型イメージャー。

供覧症例はカロリー病で肝左葉区域切除し肝腸吻合を行ない術後 1 年間の経過をみたものと, 肝門部胆管癌に対し肝拡大右葉切除し肝腸 Roux-Y 吻合した症例の追跡 RI 画像について発表する。肝胆道疾患術後における RI ヘパトグラムの利用価値の高いこと, 肝胆道外科診療上欠かせぬ検査であることを強調したい。

### 1616 肝内結石除去術後例の胆道シンチグラム 西川潤一, 大友邦, 町田喜久雄, 飯尾正宏 (東大, 放)

肝内結石除去術後症例 18 名 (男性 7・女性 11) に肝道シンチグラフィ、超音波検査、X 線 CT を行なった。胆道シンチグラフィには、 $^{99m}\text{Tc}$ -EHIDA 5mCi を用い、静注後 2 時間まで、経時的に撮影を行なった。

多くの肝内結石除去術後例では、肝内胆管に空気が存在し、超音波検査、X 線 CT 検査では、肝内胆管の拡張、狭窄の判定に影響を与える症例があり、また、超音波、X 線 CT 検査では、胆管と消化管の吻合部に関する情報が得られない場合が多かった。

胆道シンチグラフィでは、肝内胆管の拡張、狭窄の判定は、胆管の太さ、胆管内の RI の停滞状態を考慮することにより、他の二検査とは同程度にできた。胆管と消化管の吻合部も明瞭に描出できた。

胆道シンチグラフィは、肝内結石除去術後例の経過観察に有用な情報を提供してくれる。